

ポストアワード ③プロジェクト予算管理		初級
業績指標		
以下の条件の実績と経験を有する。		
①責任性 □担当者として対応した。		
②複雑性 以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 10%以上)。 □1. プロジェクト内での予算の管理・管理システムを運用した。 □2. 具体的な年次ごとの達成目標を立て、それに準じた実施計画、予算の配分計画を策定した。 □3. プロジェクト予算につき、FA との間で重点課題につき加速財源の交渉を行い、補正予算による財源の充当を行った。 □4. プロジェクト再委託先や共同実施先への検査業務及び FA による中間検査、年度末確定検査への対応業務を適切に行った。		
③重要性		
④学内外貢献 以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。 □1. プロジェクトメンバーからの質問に対して適切な回答／助言を行った。 □2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。		
⑤その他		
業務遂行能力指標		
以下の条件の能力を有する。		
①事業 □自己の業務のプロジェクト内での位置づけを理解している。		
②知識 □1. 当該プログラムの初歩的な事項を理解している。 □2. 外部資金の運用に必要な法律(例:補助金適正化法等)の初歩的な事項を理解している。 □3. プロジェクト遂行実務に関する諸規定(例:科学者倫理・生命倫理に関するコンプライアンス規定, 安全衛生に関する学内規定, FA の研究経費の管理・会計に関する規定等)の初歩的な事項を理解している。		
③実務 □1. プロジェクト予算管理業務に関する実務(例:外部資金の予算運用, FA による検査対応)の初歩的な事項(例:実務全体の 20~30%程度)を理解している。 □2. 前記1. に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決することができる。 □3. 全体のスケジュールを把握し、所定の期日までに関係者が最善を尽くすことができるようプロジェクトメンバーの協力を得て、業務を進めることができる。 □4. 研究者、あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合、上級・中級 URA や関係者に報告・相談し、適切な対処ができる。		
④語学		

⑤対人

- 1. 関係者(例:プロジェクトメンバー, FA)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
- 3. 関係者との間で信頼関係を確立し, 連携・協働できる。
- 4. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

主担当者として対応した。

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 30%以上)。

- 1. プロジェクト内での予算の管理・管理システムを運用した。
- 2. 具体的な年次ごとの達成目標を立て、それに準じた実施計画、予算の配分計画を策定した。
- 3. プロジェクト予算につき、FA との間で重点課題につき加速財源の交渉を行い、補正予算による財源の充当を行った。
- 4. プロジェクト再委託先や共同実施先への検査業務及び FA による中間検査、年度末確定検査への対応業務を適切に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 効果が実際に確認された(例:プロジェクト内での予算の管理・管理をスムーズに行うことができた、FA や組織内において、補正予算による追加財源等の交渉に参加し、重点課題の進捗を加速させる一助となった、FA の検査に際し、適切に対応し、適正な予算管理の旨承認を受けた)。
- 2. プロジェクト実施計画(予算、実施内容、成果目標等)を取りまとめ、FA に最終的に承認された。
- 3. 複数の企業、他大学・研究機関及び学内多部門からなる大規模プロジェクトについて、予算管理を行った。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 後輩(例:レベル初級)及び URA 候補者に対する育成指導／助言を行った。
- 2. プロジェクトメンバーからの質問に対して適切な回答／助言を行った。
- 3. FA や学内外からの質問に、PL に代わって自律的に対応した。
- 4. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 自己の業務のプロジェクト内での位置づけを明確に理解しており、他者に説明することができる。
- 2. 担当業務に関連する主要なプロジェクトの方針(ポリシー)を理解している。

②知識

- 1. 外部資金の運用に必要な法律(例:補助金適正化法)を理解している。
- 2. 特許出願に関する基礎知識、学内の出願に関する規則を理解している。
- 3. 輸出管理に関わる基礎的な知識、遵守する事項(例:外国為替及び外国貿易法)を理解している。
- 4. 利益相反に関する学内規定・運用方法を理解している。
- 5. プロジェクト遂行実務に関する諸規定(例:科学者倫理・生命倫理に関するコンプライアンス規定、安全衛生に関する学内規定、FA の研究経費の管理・会計に関する規定等)を理解している。

③実務

- 1. プロジェクト予算管理業務に関する実務(例:外部資金の予算運用, FA による検査対応)の専門的事項(例:実務全体の 60~70%程度)を理解している。
- 2. 前記1. に関連する業務上の課題を発見し, 解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. プロジェクトの実施計画に基づき, 適正な予算管理を行うことができる。
- 4. プロジェクト予算の管理システムを策定することができる。
- 5. プロジェクト予算の変更や追加申請等につき, FA と交渉することができる。
- 6. PL の指示に基づき, プロジェクト内の予算配分を策定することができる。
- 7. 共同実施機関等への検査業務や FA の検査対応を適切に行うことができる。
- 8. 危機管理を意識し, 想定外の事態に対して PL を支援して対処することができる。

④語学

⑤対人

- 1. PL からの信頼を確立すると共に, プロジェクトに関する認識を共有することができる。
- 2. 関係者(例:プロジェクトメンバー, FA)から円滑に情報収集ができる。
- 3. 関係者(例:プロジェクトメンバー, FA)との間で研究計画, 契約等の交渉ができる。
- 4. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
- 5. 所属組織内の関連部署(執行部, 事務組織等)と調整し, 自律的に対処ができる。
- 6. 関係者との間で信頼関係を確立し, 連携・協働できる。
- 7. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 1. 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。
- 2. 業務の締め切り等の時間的制約に対し, 十分な準備ができるように段取りし, 本人及び部下の限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応した。

②複雑性

以下のいくつかのプロジェクト運営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する(結果への寄与度 50%以上)。

- 1. プロジェクト内での予算の管理システムを運用した。
- 2. 具体的な年次ごとの達成目標を立て、それに準じた実施計画、予算の配分計画を策定した。
- 3. プロジェクト予算につき、FA との間で重点課題につき加速財源(期中での追加予算)の交渉を行い、補正予算による財源の充当を行った。
- 4. プロジェクト再委託先や共同実施先への検査業務及び FA による中間検査、年度末確定検査への対応業務を適切に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 効果が実際に確認された(例:プロジェクト内での予算の管理をスムーズに行うことができた、FA や組織内において、補正予算による追加財源等の交渉に参加し、重点課題の進捗を加速させる一助となった、FA の検査に際し、適切に対応し、適正な予算管理の旨承認を受けた)。
- 2. プロジェクト実施計画(予算、実施内容、成果目標等)を取りまとめ、FA に最終的に承認された。
- 3. 複数の企業、他大学・研究機関及び学内多部門からなる大規模プロジェクトについて、予算管理を行った。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 後輩(例:レベル初級・中級)及び URA 候補者に対する育成指導／助言を行った。
- 2. プロジェクトメンバーからの質問に対して適切な回答／助言を行った。
- 3. FA や学内外からの質問に、PL に代わって主導的に対応した。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 所掌業務の所属大学及びプロジェクトにおける研究戦略の中での位置づけ(政策、他大学動向の把握を含む)を理解し、他者(上司、関係部署、研究者等を含む)へ説明することができる。
- 2. 所掌業務に関連する主要な学内の方針(ポリシー)・学内手続きを理解している。
- 3. 所掌業務上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②知識

- 1. 外部資金の運用に必要な法律(例:補助金適正化法)を理解している。
- 2. 特許出願に関する基礎知識、学内の出願に関する規則を理解している。
- 3. 輸出管理に関わる基礎的な知識、遵守する事項(例:外国為替及び外国貿易法)を理解し、研究責任者に提示することができる。
- 4. 利益相反に関する学内規定・運用方法を理解し、研究責任者に提示することができる。
- 5. プロジェクト遂行実務に関する諸規定(例:科学者倫理・生命倫理に関するコンプライアンス規定、安全衛生に関する学内規定、FA の研究経費の管理・会計に関する規定等)を理解し、研究責任者に提示することができる。

③実務

- 1. プロジェクト予算管理業務に関する実務(例:外部資金の予算運用, FAによる検査対応)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し,あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. プロジェクトの実施計画に基づき,適正な予算管理を統括することができる。
- 4. プロジェクト予算の管理システムを主導的に統括することができる。
- 5. プロジェクト予算の変更や追加申請等につき,FAと交渉することができる。
- 6. PLの指示に基づき,プロジェクト内の予算配分を主導的に策定することができる。
- 7. 共同実施先等への検査業務やFAの検査対応を適切に統括することができる。
- 8. 危機管理を意識し,想定外の事態に対してPLを支援して対処することができる。

④語学

⑤対人

- 1. PLからの信頼を確立すると共に,プロジェクトに関する認識を共有することができる。
- 2. 関係者(例:プロジェクトメンバー,FA,監督官庁,企業)から円滑に情報収集ができる。
- 3. 関係者(例:プロジェクトメンバー,FA,監督官庁,企業)との間で研究計画,契約等の交渉ができる。
- 4. 関係者の説明(例:技術の説明)を正しく理解することができる。
- 5. 所属組織内の関連部署(執行部,事務組織等)と調整し,主導的に対処できる。
- 6. 関係者との間で信頼関係を確立し,連携・協働できる。
- 7. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 1. 複数の業務に適切な優先順位をつけ,限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。
- 2. 業務の締め切り等の時間的制約に対し,十分な準備ができるように段取りし,本人及び部下の限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。